

2020年12月7日  
スパークス・グループ株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社三井住友銀行  
株式会社三菱UFJ銀行  
株式会社みずほ銀行

## スパークス・グループによる「日本モノづくり未来ファンド」の設立について

-日本のモノづくりの発展に向けた投資-

スパークス・グループ株式会社（社長：阿部 修平、以下、スパークス）は、トヨタ自動車株式会社（社長：豊田 章男、以下、トヨタ）、株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下、三井住友銀行）、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員：三毛 兼承、以下、三菱UFJ銀行）、株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下、みずほ銀行）と本年11月に合意した覚書に基づき、「日本モノづくり未来ファンド」を設立いたしました。

本ファンドは、日本における高い技術・技能を維持し、モノづくりの力を今後も発展させていくために、優れた技術・人財・サービスを有する国内のモノづくり企業に投資し、TPS（トヨタ生産方式）や経営戦略の策定等により支援します。企業の持続的な成長を通じて、日本のモノづくりの発展に寄与することで、社会に貢献いたします。

本ファンドは、スパークスがファンド運営者（GP）となり、各出資者（LP）からの出資を受けて123億円の出資により12月より運用を開始いたします。また、2021年10月末までを目途に、ファンドの趣旨にご賛同いただける投資家の方々からの追加出資を募り、最終的には総額200億円規模のファンドを目指します。

### 〈日本モノづくり未来ファンド 概要〉

ファンド名	日本モノづくり未来投資事業有限責任組合 (通称：日本モノづくり未来ファンド)
基本理念	・優れた技術・人財・サービスを有する企業の企業価値向上を支援 ・日本のモノづくりの発展と人財の育成に貢献する
投資先	優れた技術・人財・サービスを有する国内のモノづくり企業 (自動車関連等の製造業を想定)
投資先への支援内容	・TPSに基づく現場・経営改善支援 ・三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行が培ってきた ファイナンス・投資活動の知見、ノウハウの活用 ・経営戦略・中期経営計画の策定・実行支援、等
出資者	無限責任組合員：スパークス 有限責任組合員：トヨタ、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行
ファンド規模	123億円（2020年12月7日時点）
募集金額	200億円規模
追加募集期間	2021年10月末（予定）

以上